



(社)日本口腔
インプラント学会 専門医
NPO埼玉インプラント
研究会 理事
東京都 小金井歯科

高田 尚美
先生

今回のアイテム

エンドバイト／フィルムホルダー

エンドバイトを用いたインプラント印象への応用

インプラントの印象を取る際に、印象ポストがインプラント本体に正しく適合しているかどうかを確認するのは、正確な印象をとるために欠かせないステップです。

この為、当院では印象ポスト装着時に必ずX線写真による適合チェックを行っていただきます。特にインプラント本体と印象ポストの接合部が、軟組織の深い部分にあるプラットフォームシフティングタイプインプラントの場合、このチェックは必須であるといえます。

しかし、前歯部少数歯欠損では長い印象ポストを使用することが多く、デンタルX線写真の位置付けに苦慮していました。

今回エンドバイト／フィルムホルダー(前歯部)を使用してみたいところ、印象ポストに

邪魔されることがなくフィルムを口腔内にセツトすることが出来ました。

材質が固いため、噛ませた時の対合歯の滑りが気になりましたが、その際、1枚ガーゼを挟んでみたところ、ホルダー位置を安定させることができました。

印象はその後にくくインプラント補綴の成否に関わるステップです。X線フィルムの正確な位置付けと、前歯部の審美的なインプラント補綴の為にツールとしてエンドバイト／フィルムホルダーは有効です。



1. 歯肉線下にあるボーンレベル。



2. エンドバイト/フィルムホルダーの装着。ガーゼを噛ませる事で安定する。



3. 印象ポストに邪魔される事なく、良好な撮影が行えた。



4. 上部構造の装着。審美的な前歯部の補綴が行えた。



5. 骨の状態も良好である。